

明治記念大磯邸園の 設置経緯について

設置経緯の概要

明治150年をきっかけとして、明治以降の歩みを次世代に遺すことや、明治の精神に学び、日本の強みを再認識することは、大変重要。

「明治150年」に向けた関連施策を推進

内閣官房に「明治150年」関連施策推進室 設置 [平成28年10月6日内閣総理大臣決定]

「明治150年」関連施策各府省庁連絡会議

第1回～第9回 平成28年11月4日～平成30年4月27日

施策推進の基本的な考え方、施策の方向性

「明治150年」関連施策の検討について依頼

「明治150年」関連施策の中間とりまとめ

明治期の立憲政治の確立等に貢献した先人の 遺業等を次世代に遺す取組に関する検討会

第1回 平成29年4月13日
第2回 平成29年4月25日
第3回 平成29年6月1日
第4回 平成29年6月15日

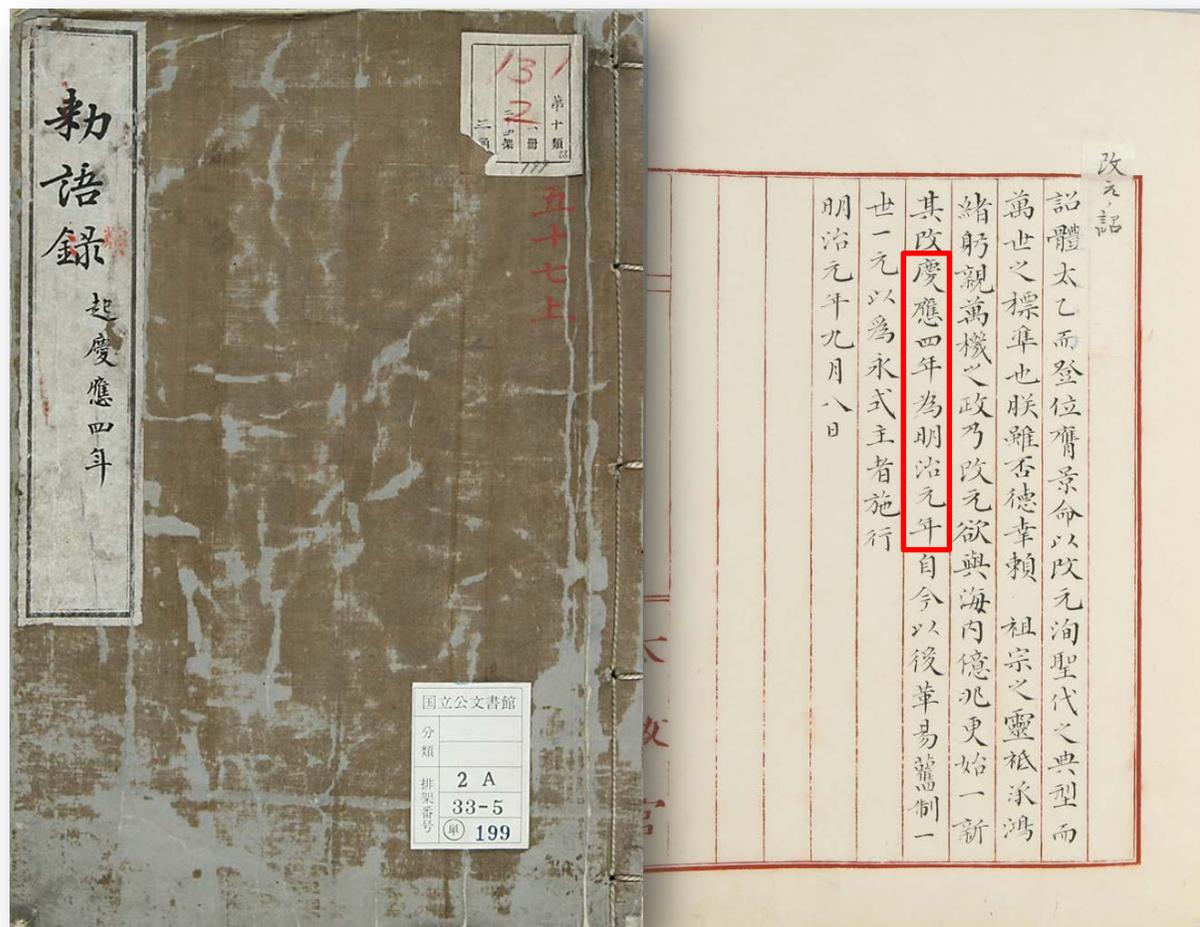
明治期の立憲政治の確立等に貢献した先人の業績等を次世代に遺す取組について(報告書)(平成29年6月15日)

「明治150年」関連施策として行う
明治記念大磯邸園(仮称)の設置に関する閣議決定 [平成29年11月21日]

2018年(平成30年)は、明治改元から満150年

1868年9月3日（慶応4年7月17日）、えどをしょうしてとうきょうとなすのしょうしょ「江戸ヲ称シテ東京ト為スノ詔書」が発せられ、「江戸」を「東京」に改称。

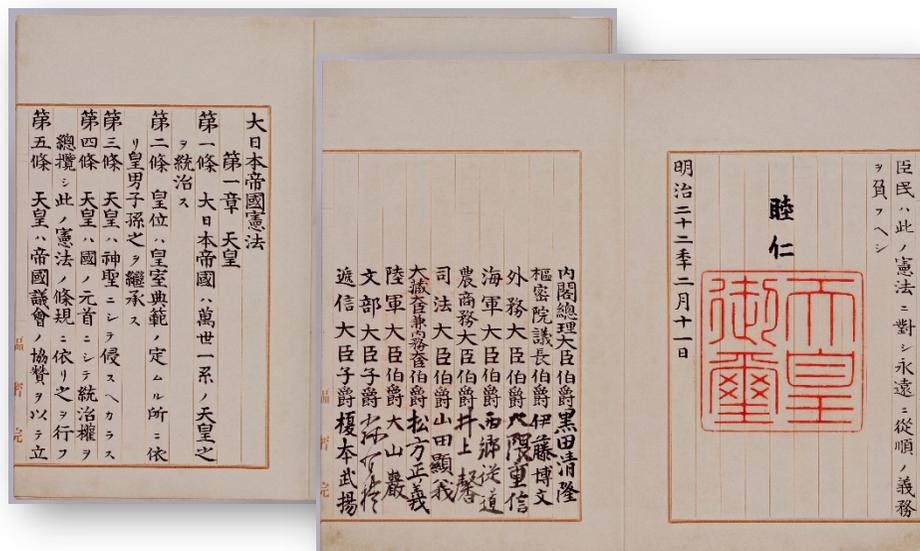
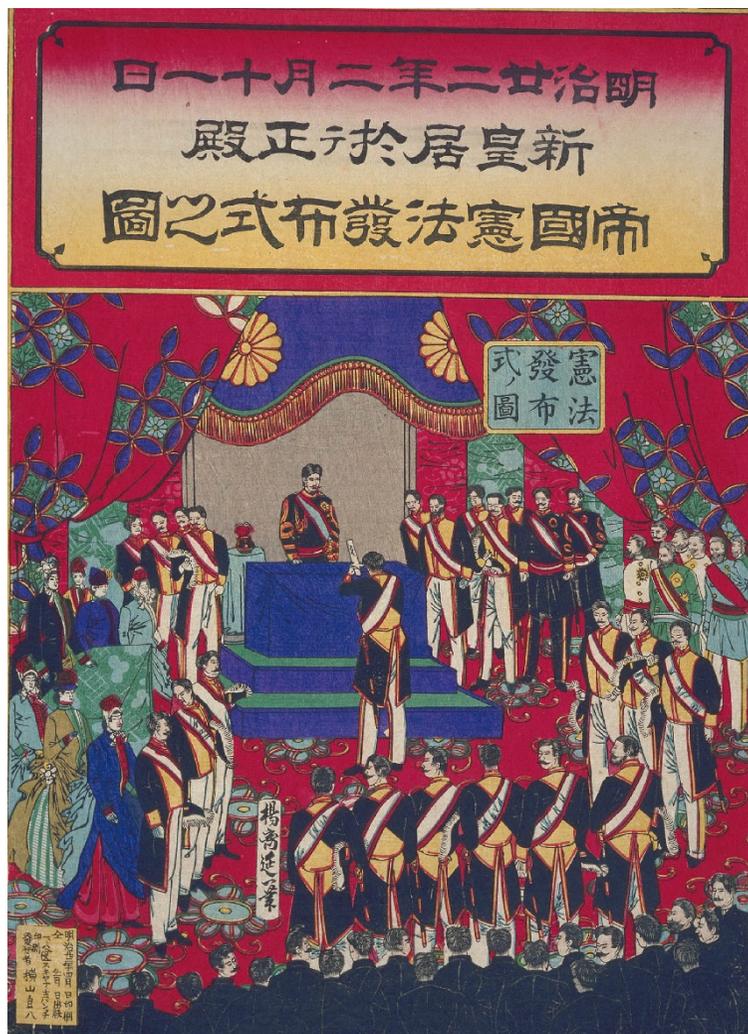
同年10月23日（慶応4年9月8日）、みことのり「明治改元の詔」が発せられ、慶応4年を明治元年とした。



参考: 太陽暦(新暦)の導入

明治5年(1872年)に改暦。
太陰暦から太陽暦に改め、
明治5年12月3日を、
明治6年1月1日とした。

明治憲法の制定(明治22年(1889))や国会の開設(明治23年(1890))など、立憲政治の確立は、明治期の近代化を象徴する出来事。



明治憲法(大日本帝国憲法)

出典: 国立公文書館デジタルアーカイブ <https://www.digital.archives.go.jp/>

憲法発布式の様子

(明治廿二年二月十一日 新皇居正殿於テ帝国憲法発布式之図、歌川延一[画])

出典: 早稲田大学図書館 http://www.wul.waseda.ac.jp/kosho/chi05/chi05_3940/

「明治150年」関連施策の基本的な考え方

平成28年11月、政府は「明治150年」関連施策各府省庁連絡会議を設置。
同年12月、施策推進の基本的な考え方、施策の方向性がとりまとめられた。

基本的な考え方

※平成30年(2018年)は、明治改元が布告された明治元年(1868年)から起算して満150年の年に当たる。

明治以降の歩みを次世代に遺す

- 明治以降、日本は近代化の歩みを進め、国の基本的な形を築き上げた。
- 明治以降の日本の歩みを改めて整理し、未来に遺すことにより、次世代を担う若者にこれからの日本の在り方を考えてもらう契機とする。

※「明治以降の歩み」…立憲政治・議会政治の導入
国際社会への対応
技術革新と産業化の推進
女性を含めた教育の充実 など

明治の精神に学び、更に飛躍する国へ

- 明治期においては、能力本位の人材登用の下、若者や女性が、外国人から学んだ知識を活かし、新たな道を切り拓き、日本の良さや伝統を生かした技術・文化を生み出した。
- これらを知る機会を設け、明治期の人々のよりどころとなった精神を捉えることにより、日本の強みを再認識し、現代に活かすことで、日本の更なる発展を目指す基礎とする。

※「明治の精神」…機会の平等
チャレンジ精神
和魂洋才 など

施策の方向性

■ 明治以降の歩みを次世代に遺す施策

明治期に関する文書、写真等の資料の収集・整理、デジタル・アーカイブ化の推進 等

■ 明治の精神に学び、更に飛躍する国へ向けた施策

日本の各地域ごとに、明治期に活躍した若者や女性、外国人を掘り起こして光を当てることにより再認識するとともに、建築物の公開など、当時の技術や文化に関する遺産に触れる機会を充実すること 等

今後、各府省庁において、具体的な関連施策の実現に向けて積極的に取り組んでいく。併せて、広報などの充実を図りつつ、地方公共団体や民間も含めて多様な取組が日本各地で推進されるよう、明治150年に向けた機運を高めていく。

有識者検討会による「人物」と「場」の選定

平成29年6月、「明治期の立憲政治の確立等に貢献した先人の業績等を次世代に遺す取組に関する検討会」が報告書を取りまとめ、取組を進めるべき場として「大磯地区」を選定。

検討の視点

立憲政治の確立に貢献した先人の業績等を後世に遺す取組の着目点

「歴史的資料」に着目した取組例

国立公文書館、憲政記念館、国立歴史民俗博物館、
山口県文書館、高知市立自由民権記念館

「人物」に着目した取組例

いわくらともみゆうせい
岩倉具視幽棲旧宅、大隈重信記念館、
原敬記念館、鹿児島市維新ふるさと館

「人物」と、その者が使用していた「場」の双方を組み合わせることで、より効果的な取組とすることが可能であり、双方を重視した取組を検討すべき。

重視すべき場

複数の人物の建物などが存在し、一体的・有機的な取組が可能な場

複数の人物の建物等が
まとめて存在している
場所の例

那須：華族農場

葉山：宮中関係者の別邸群

日光：外国大使館の別荘群

大磯：歴代首相や政治家の建物群

函館：函館西部地区の町並み

取組を進めるべき具体的な「場」

立憲政治の確立に貢献した先人との関わりでは、「大磯地区」が注目に値し、モデルを提示しうる場所

- 伊藤博文は、明治憲法の起草など、我が国の立憲政治の確立に最も活躍した人物の一人であり、大磯に「滄浪閣」という本邸を構えていた。
- 滄浪閣の隣は、旧西園寺公望邸跡であり、近くには旧陸奥宗光邸、旧大隈重信邸が当時の姿を留めており、これら立憲政治の確立に重要な役割を果たした先人の建物が集中して残っていることは希有。
- 国や地方公共団体等が適切な役割分担の下で、緊密に連携し、立憲政治に想いを馳せる契機を誘う佇まいを一体的な空間として後世に伝えていくことが求められる。

大磯地区における建物群

大磯町における政財界人の主な建物

- 大磯町には、明治期に総理大臣として活躍した伊藤博文、山縣有朋、大隈重信のほか、原敬、吉田茂など8人の総理経験者が建物を所有していたほか、外務大臣であった陸奥宗光や林董、逓信大臣であった後藤象二郎などの政治家も建物を所有し、「政界の奥座敷」とも言われた。
- また、岩崎弥之助や安田善次郎などの財界人や旧藩主も建物を所有した場所であり、これらの建物をはじめとする歴史的遺産が数多く残されている。

明治期に別荘を所有した主な政財界人
 後藤象二郎、林董、三島通庸、西周、山縣有朋、浅野総一郎、大倉喜八郎、樺山資紀、岩崎弥之助、陸奥宗光、伊藤博文、原敬、鍋島直大、大隈重信、西園寺公望、古河市兵衛、加藤高明、井上準之助、安田善次郎、池田成彬、寺内正毅

大磯駅

安田善次郎邸

池田成彬邸
※西園寺公望邸跡に建築

伊藤博文邸(滄浪閣)

鍋島直大邸跡

山縣有朋邸跡

岩崎弥之助邸跡

大隈重信邸

陸奥宗光邸

吉田茂邸

旧西園寺公望邸

資料提供協力:大磯町

滄浪閣周辺の建物群

旧池田成彬邸(旧西園寺公望邸)
・民間企業所有地
・敷地規模:約4,409坪(約14,520㎡)
・一部特別緑地保全地区

旧伊藤博文邸(滄浪閣)
・民間企業所有地
・敷地規模:約5,230坪(約17,280㎡)

旧大隈重信邸・旧陸奥宗光邸
・民間企業所有地
・敷地規模:約8,000坪(約26,400㎡)
・一部特別緑地保全地区

旧鍋島直大邸
・民間マンション



大磯こゆるぎ緑地
・大磯町所有地
・敷地規模:約500坪(約1,700㎡)
・特別緑地保全地区

※特別緑地保全地区の指定により、地域特有の景観・緑地保全を図っている。

稲荷松緑地
・大磯町所有地
・敷地規模:約400坪(約1,400㎡)
・特別緑地保全地区

国における「明治150年」関連施策(概要)

明治以降の歩みを次世代に遺す施策

【明治期の資料等の収集・整理・保存及び展示】

時間の経過等によって散逸・劣化が懸念されている明治以降の日本の歩みを改めて整理し、未来に遺すため、国立公文書館や博物館等において明治期等の資料等の収集・整理や保存を行うとともに、特別展示を行う。

- 明治期公文書の国立公文書館等への移管促進【内閣府】
- 所管行政分野(郵政、無線通信、統計、消防等)における歴史資料の収集・整理【総務省】
- 明治期の公共土木施設等に関する情報発信及び明治期に作成された灯台図面の保存等【国土交通省】
- 明治期の自然環境に関する資料の収集・整理及び公開【環境省】
- 明治期の立憲政治の確立等に関する歴史的遺産の保存・活用のための明治記念大磯邸園(仮称)の整備【国土交通省】
- 明治期の施設の改修・保存・公開等【法務省、厚生労働省、国土交通省、防衛省】

【デジタルアーカイブ化等の推進】

明治以降の日本の歩みを未来に遺すとともに、誰もが、いつでも明治期の資料や情報にアクセスできるよう、明治期の資料等のデジタルアーカイブ化等を推進する。

- 明治150年アーカイブス(仮称)【内閣官房】
- 国立公文書館におけるデジタルアーカイブの充実【内閣府】
- 明治期の消費者志向の取組発掘プロジェクト【消費者庁】
- 統計関連古書のデジタルアーカイブ化【総務省】
- 外交史料館所蔵史料の検索サービスによる紹介と国書・親書のデジタルアーカイブ化【外務省】
- 検疫に関する歴史的資料等のデジタルアーカイブ化の実施【厚生労働省】
- 明治期教科書のデジタルアーカイブ化【文部科学省】
- 農林水産業発展の歴史に関する資料のデジタルアーカイブ化等【農林水産省】
- 明治期の地図及び海図のデジタルアーカイブ化【国土交通省】

【地方公共団体及び民間の活動支援】

地方公共団体や民間において、明治期の資料や建築物などの保存や、デジタルアーカイブ化などの取組が日本各地で推進されるよう、交付金や補助金事業の活用などを含めて支援を行う。

- 地方創生推進交付金による地方公共団体の関連取組の支援【内閣府】
- 地方公共団体が行う地域の歴史文化資産の活用事業や文化財のデジタルデータ化事業への支援【総務省】
- 地方公共団体が実施する「明治150年」関連施策に対する支援【総務省】
- 地域経済循環創造事業交付金(ローカル10,000プロジェクト)【総務省】
- 文化庁補助事業を活用した文化財修復、文化財公開、文化事業等への支援【文化庁】
- 国立公文書館による地方公文書館のデジタル化事業への助言等【内閣府】

明治150年に向けた機運を高めていく施策

【広報関係・情報発信】

日本全体で「明治150年」に向けた機運を高めていくため、ロゴマークの作成や各種媒体を活用した広報展開、海外向け情報発信を推進する。

- ロゴマークの作成・各種媒体を使った広報【内閣官房、警察庁、金融庁、消費者庁、復興庁、総務省、法務省、外務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省】
- 放送コンテンツの制作・展開への支援【総務省】
- 明治期の歴史や文化、明治以降の日本の国際的取組に係る海外向け情報発信【外務省、国土交通省】
- 白書等への明治関連記事の掲載【文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省】
- 老人の日・老人週間における行事を活用した「明治150年」関連キャンペーンの実施【厚生労働省】

明治の精神に学び、更に飛躍する国に向けた施策

【若者、女性及び外国人の活躍を取り上げた施策】

明治期に活躍した若者、女性及び外国人の活躍を知り、そのよりのところとなった精神をとらえることができよう、関係機関等において、明治期の若者、女性及び外国人に光をあてた特別展示やシンポジウムの開催などのほか、国際交流等を実施する。

- 男女共同参画推進の全国会議における明治期に活躍した女性に関する展示、国立女性教育会館による企画展の開催【内閣府、文部科学省】
- 明治期の金融制度確立等に関する人物に関する調査・広報【金融庁】
- 「明治150年記念世界青年の船」事業の実施、スーパーグローバル大学創成支援事業採択校などにおける関連シンポジウム・講座等の開催【内閣府、文部科学省】

【明治期の技術及び文化芸術に触れる機会の充実】

日本の技術や文化などの強みを再認識するため、博物館等において明治期の技術や文化芸術に関する特別展示及びシンポジウムの開催等を実施する。

- 特別展示及びシンポジウムの開催【内閣府、警察庁、金融庁、消費者庁、総務省、外務省、財務省、文部科学省、文化庁、農林水産省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省】
- (例)
 - ・ 迎賓館赤坂離宮「明治150年特別参観」の実施【内閣府】
 - ・ 明治期における金融制度が果たした役割等に関するシンポジウムの開催【金融庁】
 - ・ 法務省赤れんが棟法務史料展示室における司法の近代化等に関する特集展示【法務省】
 - ・ 近代日本の対外関係展の実施及び在外公館、国際交流基金やジャパン・ハウスを活用した関連イベントの企画及び実施【外務省】
 - ・ 税務大学の租税史料室、(独)造幣局及び(独)国立印刷局の博物館、日本銀行貨幣博物館等における特別展示等【財務省】
 - ・ 大学図書館が所蔵する明治期コレクションの企画展、国立科学博物館による記念展示及び大学生対象の講座の開設、明治以降の学校建築に関するシンポジウムの開催【文部科学省】
 - ・ 東京国立近代美術館及び東京国立博物館等における企画展示等【文化庁】
 - ・ 検疫資料館等を活用した検疫に関する歴史的資料等の公開イベントの実施、日本赤十字社における特別展示【厚生労働省】
 - ・ 明治期の生糸産業等に関するパネル展示・シンポジウムの開催【農林水産省】
 - ・ 産業技術総合研究所地質標本館における特別展等【経済産業省】
 - ・ 明治150年新宿御苑菊花壇展(仮称)の開催【環境省】
 - ・ 市ヶ谷記念館、防衛研究所における特別展示等【防衛省】
- 「明治日本の産業革命遺産」を核とした産業遺産に関する理解増進【内閣府】
- 明治の公共土木施設等に関するインフラツーリズムの推進、明治の歴史を探訪する旅の開発【国土交通省】
- JICAと大学等との連携を通じた日本の開発経験の共有(JICA開発大学院連携)【外務省】

【記念事業・大会】

日本全体で「明治150年」に向けた機運を高めていくため、明治150年記念を冠した記念事業や記念イベントを実施する。

- 明治150年を冠した武道大会等の開催【警察庁】
- 明治150年を冠した国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会の開催【文部科学省】
- 明治150年を冠した文化イベント(国民文化祭、芸術祭、文化庁メディア芸術祭等)の開催【文化庁】
- 明治150年を冠したイベント等の事業の実施【法務省、文部科学省、厚生労働省、国土交通省】
- 記念切手の発行推薦、記念貨幣や商標の記念登録証等の発行の可能性について検討【内閣官房、総務省、財務省、文部科学省、経済産業省】

「明治150年」関連施策の施策群

明治150年関連施策の検討状況

(平成30年3月31日現在)

国（府省庁） 158件

地方公共団体 2,906件

※予定・検討中の施策を含む



○明治150年アーカイブス【内閣官房】

関係省庁による「『明治150年』アーカイブ連絡会議」を設置し、明治期をはじめとする歴史的な資料について、収集・保存、デジタルアーカイブ化等の推進に向け、情報共有・連携を行う。

また、各府省庁が保有する明治関連のアーカイブについて、平成29年10月に設置した「明治150年」のポータルサイトオンラインで発信している。



○東京国立近代美術館及び東京国立博物館等における企画展示【文化庁】

明治150年を迎えるにあわせ、明治期の作品の特集を組んだ所蔵作品展の開催や、明治期から活躍した日本画家をテーマとした企画展の開催を検討する。



鳩桜花園高浮雕花瓶 初代宮川香山作
1871-82年頃（東京国立近代美術館提供）



古今珍物集覧 一躍富国輝筆 明治時代（東京国立博物館提供）

○ 迎賓館赤坂離宮「明治150年特別参観」の実施【内閣府】

明治期に当時の建築や工芸美術の総力を結集して作られた迎賓館赤坂離宮において、大学教授や研究者による講演及び迎賓館本館ガイドツアーを行う「明治150年特別参観」を実施する。



迎賓館赤坂離宮（内閣府提供）



迎賓館赤坂離宮羽衣の間（内閣府提供）

「明治150年」関連施策として行う明治記念大磯邸園(仮称)の設置について

平成29年11月21日 閣議決定

「明治150年」関連施策の一環として、国は、地方公共団体との連携の下、神奈川県中郡大磯町の一部の区域に、明治記念大磯邸園(仮称)を設置する。

また、明治元年から起算して満150年に当たる平成30年10月を目途に、一部の建物を含む区域の公開を目指すものとする。



旧伊藤博文邸(大磯町提供)



こゆるぎの浜



旧大隈重信邸